

# 自社商品「小松菜うどん」のパッケージデザインの刷新

会社名 農業生産法人 株式会社ナガホリ(埼玉県)

小松菜の生産が県内トップクラスの会社。出荷規格外の小松菜を有効活用するために、ペースト化・粉末化の加工を行っている。

## 1. 相談のきっかけ

小松菜のペースト、粉末の販売を始めたことを契機に自社商品「小松菜うどん」の開発を開始。

「小松菜うどん」(乾麺タイプ)の試作にめどが立ったので、商品化のためにパッケージデザインが必要となり、よろず支援拠点に相談すべく来訪した。

## 2. 課題整理・分析

・本企業はこれまでの業務で、商品開発の経験は少なく、商品化で重要となる、パッケージ製作については、出荷用包材を他業者から手配するレベルでしか手掛けたことがなく、オリジナルな個装の商品デザインを作り上げることが単独では困難であった。

・「小松菜うどん」の製造については、従来よりOEM委託先が確保されており生産体制は安定的に確立されていたことから、パッケージデザインの開発について、アドバイスが必要であった。

## 3. 解決策の提案

パッケージデザインについて以下のとおり提案。

・小松菜を配合した乾麺は、光が入ると麺の色が変化するので、遮光性のあるアルミ蒸着加工包材の使用を提案。また、アルミ蒸着の包材印刷ができる印刷所を紹介。

・デザインは、数案のデザイン案を提案し、デザインの方向性の確認作業を事業者とともに実施。

・デザイン面だけではなく、茹で時間の確認、原材料表示、パッケージに記載するキャッチフレーズ、調理例写真の重要性などもアドバイスした。

## 4. 成果

アドバイスに基づき、作業を進めた結果、パッケージが完成(下記写真参照)

また、商品化を進める中で、より円滑な取引実現のための製造委託先の変更や、パッケージのカリグラフィー(筆文字)の制作、写真の手配など同社にとって慣れない作業も多数あったが、イメージを刷新して無事新商品が完成。平成27年5月より販売開始にこぎつけた。事業者からは「満足のいく商品になった」とコメントがあり、これからは、一層の販路開拓が期待される。

さらに、今回の「小松菜うどんの」商品化に続き、「小松菜ラーメン」も企画・開発することになった。



パッケージデザイン提案



完成した商品「小松菜うどん」



商品開発中の「小松菜ラーメン」初回パッケージデザイン提案